

## 好事例(令和6年度評価が令和5年度評価から改善(D～B⇒A)した事業)

参考6

令和6年 度事業番 号	令和5年 度 事業番号	事業名	令和 6年度 評価	令和 5年度 評価	令和5年度に未達成だった 成果目標と実績		令和6年度の成果目標と実績 (令和5年度未達目標関係、令和5年度から 変更した目標を抜粋)	評価改善のための取組
19	19	職場における受動喫煙対策事業	A	B	指標	【アウトプット指標】 補助金の1か月当たりの平均利用件数について、3回／月以上とする。	【アウトプット指標】 補助金の1か月当たりの平均利用件数について、1.6回／月以上とする。	一部自治体での条例の制定による受動喫煙防止対策の意識の高まりや受動喫煙防止対策助成金を利用したことを要件とする支援制度の創設があり、当該助成金を利用するニーズが増えたことによるものと考えられる。
					実績	【アウトプット指標】 補助金の1か月当たりの平均利用件数について、2.3回／月だった。	【アウトプット指標】 補助金の1か月当たりの平均利用件数について、3.5回／月だった。	
42	42	個別労働紛争対策費	A	D	指標	【アウトカム指標】 都道府県労働局長の助言・指導の実施による個別労働紛争の改善率を70%以上とする。	【アウトカム指標】 都道府県労働局長の助言・指導の実施による個別労働紛争の改善率を70%以上とする。	総合労働相談員が実施する助言・指導は、可能な限り、労働契約法等関係法令の条文や裁判例等を示し、一定程度の所感を述べた上で行うことを原則としているところ、令和6年度、独立行政法人労働政策研究・研修機構の協力を得て、最新の判例等を掲載した「個別労働関係法ハンドブック」を全国の労働紛争調整官と総合労働相談員に配布とともに、総合労働相談員に対して、改めて、紛争解決手法等に係る研修を実施するなど、効果的な助言・指導を実施するための取組みを行った結果、改善率上昇につながったものと考えられる。
					実績	【アウトカム指標】 67.9%(5,382件(助言・指導改善件数)/7,929件(助言・指導実施件数))(速報値)	【アウトカム指標】 77.3%(6,383件(助言・指導改善件数)/8,256件(助言・指導実施件数))(令和6年度)	